

②産業構造

事業所数では、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業が全体の約41%を占め、県内における割合と比較して高い割合となっており、観光都市としての特徴が表れています。2012年度比では、学術研究、専門・技術サービス業及び医療、福祉の事業所が特に増加しています。

また、市内事業者の94.7%が従業者30人未満の中小企業等となっています。

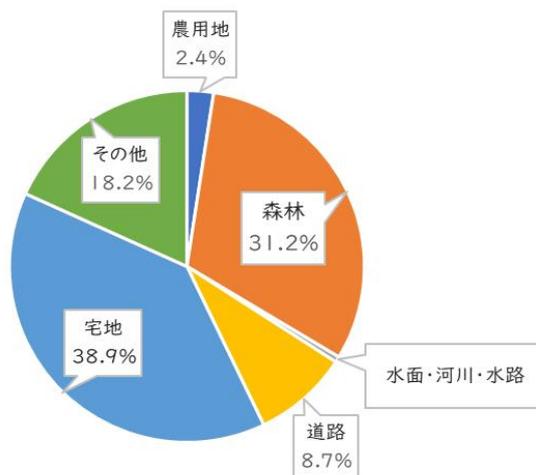
分類	H24(2012)鎌倉市		R3(2021)鎌倉市		R3(2021)神奈川県	
	事業所数	(%)	事業所数	(%)	事業所数	(%)
総数	7,228	100%	7,237	100%	289,668	100%
農林漁業	7	0.1%	10	0.1%	750	0.3%
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	21	0.0%
建設業	488	6.8%	398	5.5%	28,997	10.0%
製造業	211	2.9%	190	2.6%	17,326	6.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.03%	3	0.04%	381	0.13%
情報通信業	121	1.7%	167	2.3%	4,888	1.7%
運輸業、郵便業	77	1.1%	77	1.1%	7,642	2.6%
卸売業、小売業	1,979	27.4%	1,782	24.6%	61,012	21.1%
金融業、保険業	86	1.2%	82	1.1%	3,757	1.3%
不動産業、物品賃貸業	795	11.0%	716	9.9%	28,612	9.9%
学術研究、専門・技術サービス業	364	5.0%	460	6.4%	15,500	5.4%
宿泊業、飲食サービス業	1,203	16.6%	1,163	16.1%	32,958	11.4%
生活関連サービス業、娯楽業	548	7.6%	559	7.7%	23,023	7.9%
教育、学習支援業	329	4.6%	393	5.4%	12,969	4.5%
医療、福祉	587	8.1%	754	10.4%	32,026	11.1%
複合サービス事業（郵便局、協同組合）	28	0.4%	26	0.4%	1,062	0.4%
サービス業（他に分類されないもの）	403	5.6%	427	5.9%	17,542	6.1%
公務	—		30	0.4%	1,202	0.4%

資料：経済センサス基礎調査（令和3年度（2021年度））

(3) 土地利用状況等

①土地利用状況

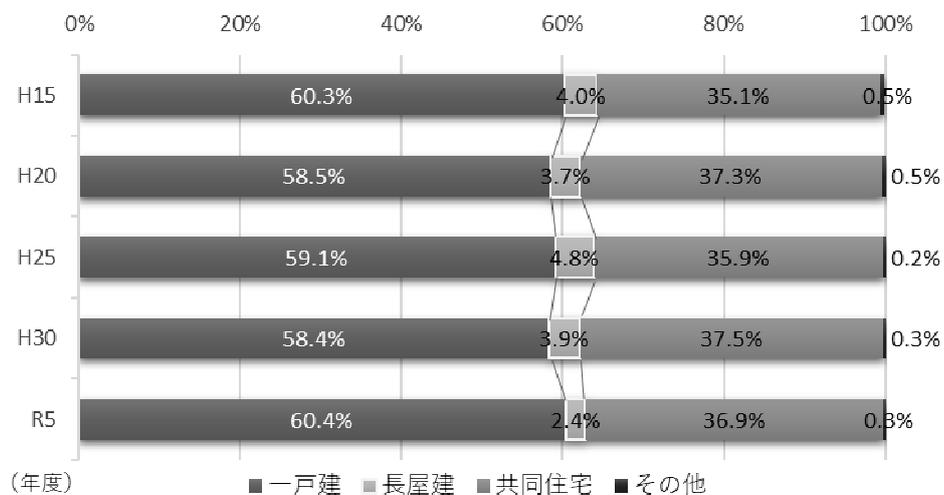
土地利用状況は、森林が約3割、宅地が約4割となっています。



資料：土地統計資料集（神奈川県）（令和5年度(2023年度)）

②住宅の状況

住宅の状況は、一戸建が約6割、共同住宅が約4割となっています。



資料：住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）